

日本労働年鑑 第52集 1982年版  
The Labour Year Book of Japan 1982

第一部 労働者状態

I 労働人口の構成

3 労働者の部門別構成

5 教育労働者

文部省「文部統計要覧、昭和五五年度版」(一九八〇年七月刊)によると、全国の大学以下、専修・各種学校をふくむ教職員総数(本務者のみ)は約一六七万人、そのうち教員一二四万二〇七九人、職員(常勤的非常勤勤務者をふくむ)四二万九四一三人でそれぞれ学校種類別にみると第11表のとおりである。

以上の本務者のほか、兼務者が教員では二五万人となっている。

【参考資料】(1)立命館大学人文科学研究所「戦後日本の社会構造の変化——第一回日ソ学術シンポジウム報告集」一九八〇年六月刊所収、「現代日本の社会構成における労働者階級」(P・P・トペハ)ほか。(2)向笠良一ほか編著『工場調査・巨大工場と労働者階級(上・下)』新日本出版社、八〇年一二月刊、(3)安富邦雄「福島県における労働者階級の構成と組織状況」(『福島大東北経済』六九号、八〇年一二月)、(4)「特集・現代における窮乏化と中流意識の構造」(『月刊労働組合』一六五、八〇年一二月号)所収「現代日本の階級構成分析」(原野人)ほか、(5)「特集・現代社会論の地平」(『経済評論』三〇一、八一年一月号)所収「現代社会の階級構造」(庄司興吉)ほか、(6)友寄英隆「階級構成はどう変化しているか——一九八〇年国勢調査速報による」(『赤旗』八一年四月二・三・七日付掲載)、(7)経済理論学会編『現代資本主義と労働者階級——学会年報第一六集』(青木書店、七九年八月刊)所収「〃労働の社会化〃と労働者階級」(富沢賢治ほか)、(8)総理府統計局「昭和五五年国勢調査、全国都道府県市区町村別人口(要計表による人口)」八一年一月刊、(9)同「昭和五五年国勢調査、抽出速報集計結果」八一年三月刊。

日本労働年鑑 第52集 1982年版

発行 1981年11月30日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年9月18日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1982年版(第52集)【目次】 次のページ → ■  
日本労働年鑑【総合案内】